

社会医学会レター

日本社会医学会 2019-1号 2019年7月1日発行
事務局 滋賀医科大学 社会医学講座 衛生学部門 内
大津市瀬田月輪町 TEL / FAX : 077-548-2187 / 2189
E-mail: office@jssm.mail-box.ne.jp
ホームページ : http://jssm.umin.jp/

第60回 日本社会医学会総会 あいさつ

学会長：櫻井 尚子（東京慈恵会医科大学大学院 看護専攻 教授）

還暦に当たる第60回を東京慈恵会医科大学で開催させていただきますことは、たいへん光栄です。

日本社会医学会の源流であった社会医学研究会の初代会長のお一人である曾田長宗先生は「社会医学のはるかな道」の中で「医学の社会化」について述べられています。前回は、「前を向く社会医学～次世代への胎動～」と題して、ひとり一人の居場所を大切にする社会の形成が重要であり、学会の目指す方向が推察されたと考えます。社会医学は、川下で生じている目の前の課題だけでなく、川上の課題を解決する視点をもつ研究・実践活動が大切であると考えます。そして、多様な領域の研究者・実践家が共に話し合い、社会の問題を課題として前向きに話し合い取り組むことが求められているのではないのでしょうか。

次世代を支援する社会づくりとして「子どもの貧困と家族への支援」「子どもの権利…」について、スウェーデンからイヴァルソン教授（通訳あり）にお越しいただけることになりました。高齢者を支援する社会づくりとして「高齢者医療と倫理」「健康寿命に寄与する口腔ケア」を、セーフネットの社会づくりとして「生活保護受給者の健康支援」を企画しています。

人は生物として生きるだけでなく、ひとり一人の物語を紡いで人生を生きています。臨床や地域および教育の場等における日頃の実例や気づきを通して、住民や患者さんの幸せを目指す社会づくりへの思考を、ひとり一人の人生を生きる権利を私たちがどう捉え支えるかを共に考えていけたらと思い「ものがたりセミナー」を企画しました。

日本社会医学会学術誌である「社会医学研究」には多くの論文が投稿されています。編集委員会企画「研究の進め方」を、また、人々の物語を研究データにする「質的研究」教育講演をもうけました。

会場の東京慈恵会医科大学は、脚気の疫学的臨床研究を行った高木兼寛を学祖として130年の歴史を持ち、英国医学を取り入れた私学としての道を歩んできました。社会医学の視点からご紹介したいと特別講演を企画いたしました。

本学会では曾田長宗先生の思いの初心を確認し、保健師、法律学者、総合診療医師、哲学者、歯科医師、看護師、公衆衛生医師、小児科医師、大学や行政や子育て支援組織など多様な職種と働く場の方々に参加をお願いし、多様な見地から社会医学を俯瞰し、日々の実践の活動に寄与できればと考えます。

日時：2019年8月6日（火）～7日（水）
会場：東京慈恵会医科大学 国領キャンパス
（〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1）

<アクセス>

[京王線] 新宿駅－国領駅（徒歩15分）

[京王線] 新宿駅－調布駅（バス10分）

[小田急線] 新宿駅－狛江駅（バス10分）

バス停：慈恵第三病院前

メインテーマ：

人々の生命（いのち）と生活（くらし）と
生きる権利を守る社会づくり

理事会：総会前日の5日（月）、17:00～18:45
東京慈恵会医科大学5階会議室

一日目（6日）

10:00～10:10 開会の辞

10:15～10:50 大会長講演「人々の生命と生活と
生きる権利を守る社会づくり」
演者 櫻井尚子（東京慈恵会医科大学 看護学）
座長 高鳥毛敏雄（関西大学）

11:00～12:00 基調講演

「子どもの貧困と家族への支援」

演者 棚村政行（早稲田大学 法学学術院）

座長 小橋 元（獨協医科大学）

11:00～12:00 一般演題

1群（4演題） 第二会場

2群（4演題） 第三会場

12:15～12:50 評議員会・理事会

13:00～13:50 教育講演：ものがたりセミナー1

「高齢者医療と倫理」

演者 三浦靖彦（東京慈恵会医大附属病院）

座長 櫻井尚子（東京慈恵会医科大学 看護学）

13:00～13:50 教育講演「質的研究」

演者 北 素子（東京慈恵会医科大学 看護学）

座長 大木幸子（杏林大学 看護学）

14:00～16:00 教育講演：ものがたりセミナー2

「対話し協働する保健医療福祉を考える」

演者 金城隆展（琉球大学医学部附属病院）

座長 三浦靖彦（東京慈恵会医大附属病院）

14:00～15:00 編集委員会企画セミナー

「研究方法」 ①研究計画の立て方と研究実践
②研究論文の作り方
企画 小橋 元 (獨協医大・編集委員長)

15:10～16:10 シンポジウム 1

「健康寿命を伸ばす口腔ケア」
司会 星 且二 (首都大学東京 名誉教授)
演者 福澤洋一、小林憲司、古藤真実、
矢吹義秀 (東京都港区芝歯科医師会)

16:15～17:30 特別講演「高木兼寛と社会医学」

演者 栗原 敏 (学校法人慈恵大学 理事長)
座長 高鳥毛敏雄 (関西大学)

17:45～19:30 情報交換会

会場 ベラ

二日目 (7日)

10:00～11:30 ワークショップ

「生活保護受給者の健康支援」
演者 原 政代 (東京医療保健大学)

10:00～11:00 一般演題

3群 (4演題) 第二会場
4群 (4演題) 第三会場
5群 (4演題) 第四会場
6群 (4演題) 第五会場
7群 (4演題) 第六会場

11:10～12:10 一般演題

8群 (4演題) 第二会場
9群 (4演題) 第三会場
10群 (4演題) 第四会場
11群 (4演題) 第五会場
12群 (4演題) 第六会場

12:30～13:20 総会

13:30～15:50 シンポジウム 2

「子ども権利の現状と課題」

総合司会 武内一 (佛教大学 社会福祉学部)
第1部：現場の声
医療現場：子どもの貧困調査研究者 (和歌山)
生協こども診療所 佐藤洋一
保健行政：上尾市健康福祉部生活支援課
藤田恭子
子育て支援組織：石巻市震災子ども居場所ケア
こころスマイル 志村知穂
第2部：子どもの権利に対する国際的な動き
子どもの権利と Salut プログラム：ウメオ大学
疫学とグローバルヘルス研究科
アネリ・イヴァルソン教授 (スウェーデン)
(通訳：武内一)
第3部：パネルディスカッション

15:50～16:00 閉会の辞

理事会 (5/11) 報告の概要 (一部更新)

- ① 会員総数 459名 (2019年5月31日現在)
一般386名、学生・院生46名、名誉27名
- ② 第7期 (2019年5月～2022年4月) 役員選挙の結果報告
 - ・評議員選挙の当選者47名
 - ・当選評議員による選挙の理事当選者9名
 - ・当選理事により高鳥毛敏雄会員が理事長に当選
 - ・若干名追加の評議員・理事と監事は総会で承認を諮る
- ③ 2018年度の活動ならびに決算の報告
 - ・第59回日本社会医学学会総会
大会長：小橋元先生 (獨協医科大学教授)、
獨協医科大学キャンパスで開催。
 - ・社会医学研究は、第35巻1号と2号 (2018年)、
第36巻1号 (2019年) を発行した。
 - ・社会医学レターは、レター1号 (2018年7月)、
2号 (同10月)、3号 (2019年2月) を発行した。
 - ・小橋元理事を編集長として、機関誌編集の場が
移転し、新たに編集委員会が設けられた。機関誌
の査読方法や投稿規定の変更が検討された。
 - ・会計監査は未実施の概算レベルの決算案。
- ④ 2019年度の事業計画ならびに予算案
 - ・第60回総会が大会長を櫻井尚子理事として東京
慈恵会医科大学で開催する。
 - ・理事会の開催 (3回予定)
 - ・ニュースレターの発行 (3回の予定)
 - ・機関誌「社会医学研究」の発行 (2回の予定)
 - ・ホームページによる情報発信
 - ・機関誌発行費・人件費・郵送費の付け替え、消費
税増税の対応、事務局員の時給等が検討された。
- ⑤ 規約の改訂案
学生 (大学院生を含む) 会員の登録期間を1年と
し、更新手続を必要とする。
- ⑥ 第61回 (2020年) 以降の総会候補地
未確定
- ⑦ 事務局の移転
 - ・第60回総会后に、事務局を現在の滋賀医科大学
社会医学講座衛生学部門から、移転する。
 - ・次期事務局候補に業務内容を伝達する。

社会医学研究に投稿しましょう

査読つきの年2回刊行、バックナンバーは、インター
ネットで、全部読めます。原著、総説、研究報告、
編集長へのレターなど、選んで投稿してください。
「社会医学研究」へ投稿される原稿の査読、改訂な
どの手続きを迅速化するために、原稿を電子ファイル
として以下のメール・アドレスへ送付ください。
編集委員長・小橋元： e.c-jssm@dokkyomed.ac.jp
電子ファイルを利用して投稿する場合、本文および表
は必ず、「MS Word」または「一太郎」、ないしパワー
ポイントやエクセルを用いた電子ファイルを用いてく
ださい。